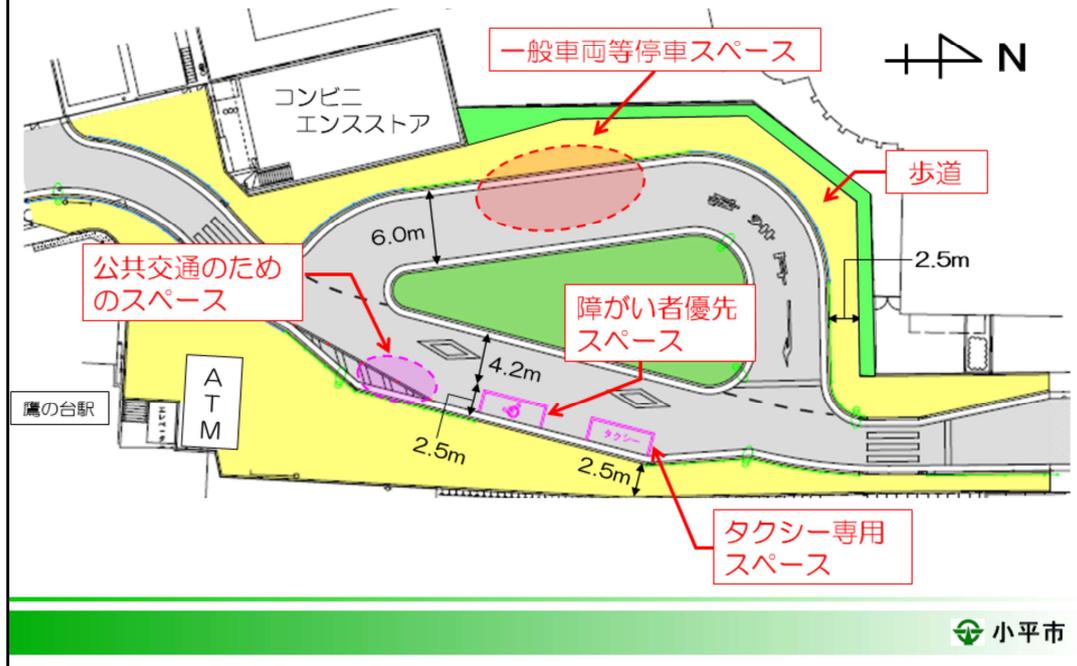


## (3) 整備内容(交通結節機能)



次に、「整備内容(交通結節機能)」の詳細について説明いたします。

ここでは、「交通結節機能」と、「都市の広場機能」の機能別に分けて説明いたします。

まずは、「交通結節機能」についてでございます。

車道につきましては、本線の幅員を4.2mといたします。

ロータリーの幅員は、停車スペースを考慮するとともに、余裕幅を確保するため、6mとしております。

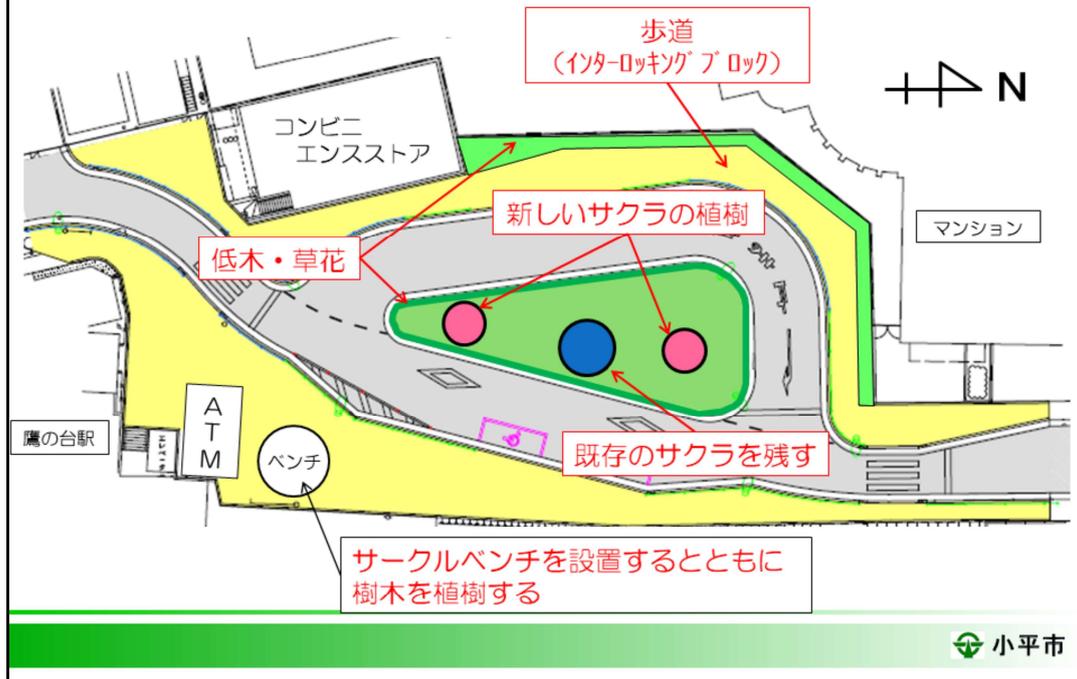
次に、歩道につきましては、有効幅員で2m以上の確保に努めております。

しかしながら、一部において、当該路線に隣接する敷地などの関係により、2mを確保できない箇所もございます。

停車スペースにつきましては、本線沿いに、タクシー専用の乗降スペース、障がい者優先乗降スペース、また、将来の公共交通が停車できるスペースを設けるとともに、ロータリー部につきましては、一般車両や荷卸し車両などの停車スペースを確保いたします。

#### (4) 整備内容(都市の広場機能)

P 14



次に、「都市の広場機能」について説明いたします。

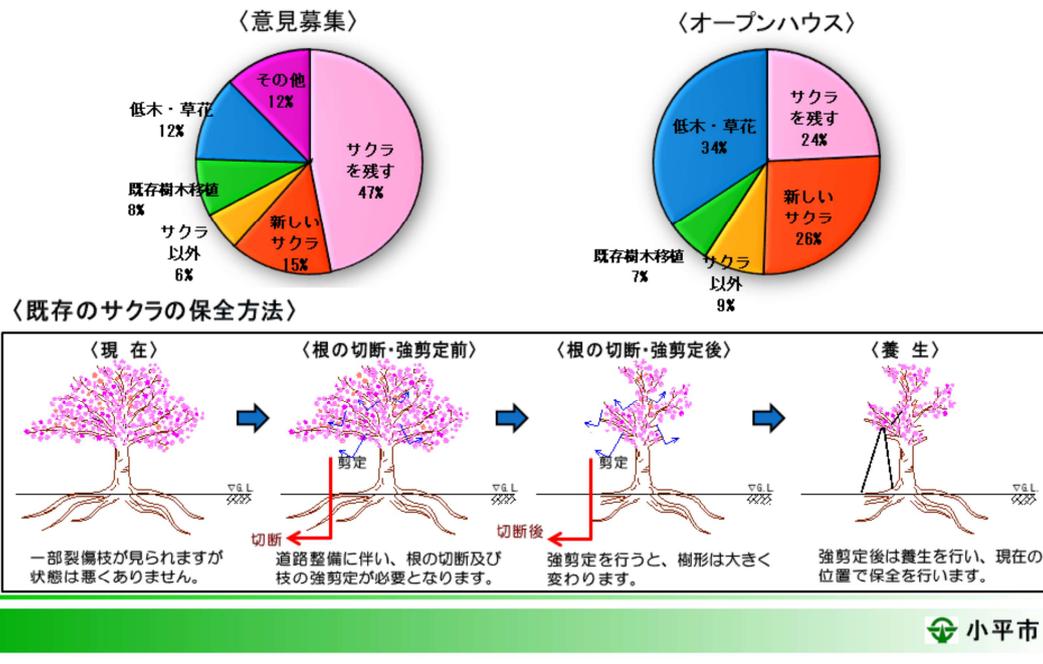
ロータリー中央の交通島については、既存のサクラ2本のうち1本を残すとともに、新たに2本程度のサクラを植樹します。

また、交通島の周り及び一部の歩道には、低木や草花を植栽します。

ATMの北側には、サークル型のベンチを設置するとともに、ベンチ中央に樹木を植樹いたします。

歩道につきましては、駅前広場の景観に配慮して、インターロッキング舗装といたします。

## (4) 整備内容(都市の広場機能)



次に、樹木の詳細について説明いたします。

樹木につきましては、これまで実施した意見募集や、オープンハウス開催時にいただいたご意見を参考に決定させていただきました。

これらの結果といたしましては、スライドに示したとおり、「既存のサクラを残す」・「新しいサクラの植樹」を合わせ、半数を超える結果となっています。

市としましては、この結果を踏まえた樹木計画といたしました。

まず、現在のサクラにつきましては、2本あるうち整備工事にかかる1本を除き、残る1本を保全してまいります。

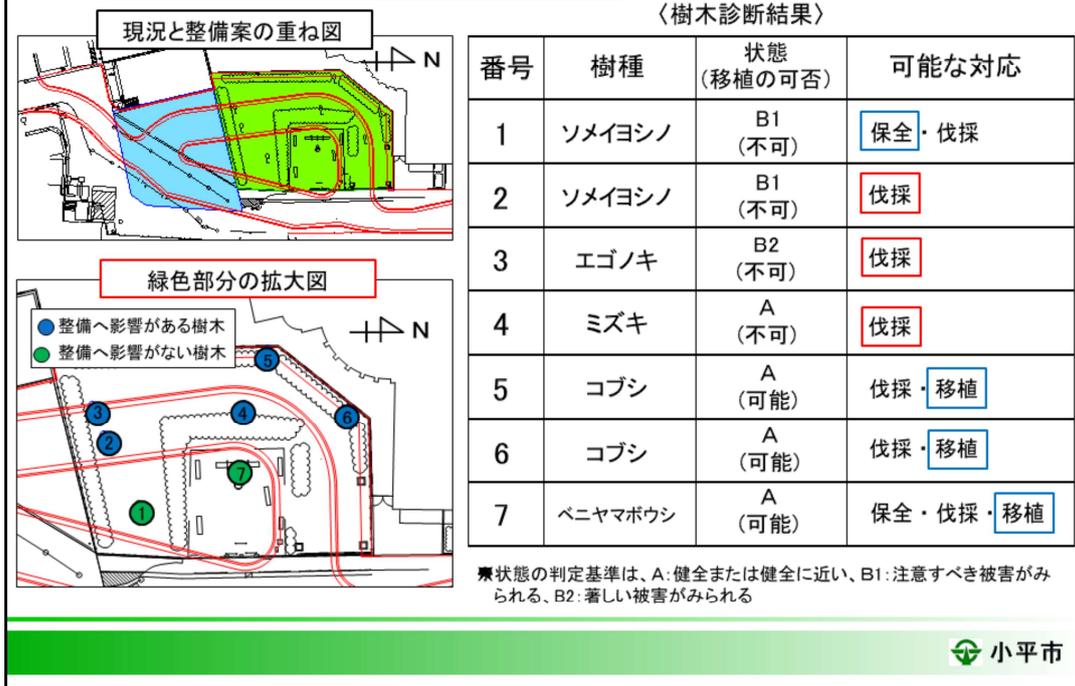
しかし、この残す1本につきましても、道路整備の範囲に若干かかることとなりますので、根の切断が必要となります。

樹木医の見解によりますと、根の切断は直上の枝にも影響があるとうかがっており、健全な状態にするためには裂傷枝の剪定と合わせて、強剪定が必要となります。

そのため、強剪定後はこれまでの樹形とは異なり、小さな樹形となります。

## (4) 整備内容(都市の広場機能)

P16



続いて、「既存の樹木」について説明いたします。

既存の樹木は、スライドの表のとおり、中高木合わせて7本ございます。

サクラ(ソメイヨシノ)につきましては、1本は現在の位置で保全し、残りの1本は、道路整備にかかることとなるため伐採いたします。

エゴノキにつきましては、樹木診断の結果から、状態が良くないことが判明したため、伐採いたします。

ミズキにつきましては、道路整備の範囲にかかります。

また、樹木医の見解によると、状態は良好であるとうかがっておりますが、根が露出しているなど、移植は望めないとのことであるため、伐採いたします。

コブシ2本につきましては、樹形や状態も良いことから、移植にも耐えうると考え、2本ともに、市内の公園や広場に移植いたします。

最後にベニヤマボウシですが、樹形や状態が良いことから、新設するサークルベンチの中央に移植いたします。

既存の樹木につきましては、「なるべく残してほしい」というご意見もいただいております。市といたしましても、可能な限り保全や移植を行っていくこととしてまいります。

## (4) 整備内容(都市の広場機能)

P 17

## 新しく植樹するサクラ(案)

参考 街路樹ガイドブック  
(東京都産業労働局農林水産部)

&lt;アマノガワ&gt;

樹高：5～8m  
樹幅：1～1.6m

&lt;オカメ&gt;

樹高：3～5m  
樹幅：1.8～3m

&lt;コヒガンザクラ&gt;

樹高：5～8m  
樹幅：4～6.4m

&lt;陽光&gt;

樹高：5～8m  
樹幅：3～4.8m

続いて、「新しく植樹するサクラ」について説明いたします。

新しく植樹するサクラにつきましては、道路整備により設けるロータリー中央の交通島に植樹を行う計画としています。

交通島は、視認性の確保や治安面に配慮して、見通しを良くするため、新しく植樹するサクラは、背丈が低く、枝があまり広がらない特徴をもつ品種が適していると考えています。

そのため、スライドにあるような品種を検討しています。

なお、新たに植樹する「サクラ」につきましては、本年11月以降に意見募集を行ったうえで決定いたしますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



「安全対策」について説明いたします。

安全対策としては、歩道に滑りにくい材質であるインターロッキング舗装を敷設します。

歩行者の安全確保のため、車道と歩道の境に横断抑止柵又は車両防護柵を設置いたします。

駅前広場に侵入する車両速度の抑制を図るため、ドライバーへの注意喚起を目的とした、カラー舗装を敷設します。

また、徐々に幅員を狭めることにより、速度抑制の効果を高めます。

最後に、道路の端部に設置される排水施設につきましては、舗装下に埋設するタイプを使用することにより、自転車が走行しやすい道路といたします。

以上が、駅前広場で計画している安全対策でございます。

## (5) 安全対策(駅前①)

P19

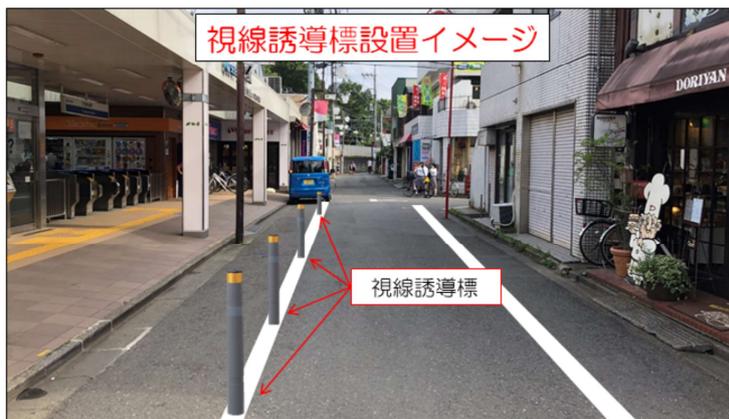
&lt;課題&gt;

停車する車両の対応



&lt;対応策&gt;

視線誘導標を設置することにより車両が停車できないようにする



次に、「駅改札口付近の安全対策」について説明いたします。

この場所は、車両が停車していることが多く、歩行者・追い越し車両ともに見通しが悪くなり、接触する危険性が懸念されています。

そのため、視線誘導標を設置することにより、車両が停車できなくなりますので、ロータリーに設ける停車スペースをご利用いただくこととなります。

## (5) 安全対策(駅前②)

P 20

&lt;課題&gt;

駅舎内改札口前の急な勾配



&lt;対応策&gt;

急な勾配を改善し、駅利用者の安全性・利便性の向上を図る



次に、「駅改札口前の安全対策」について説明いたします。

現在の通路は、急勾配であり、歩行者にとって歩きづらい状況です。

また、車椅子利用者の方や目の不自由な方にとっても、急勾配の通路は非常に危険であるため、改善すべき課題であると捉えております。

このことについて、鉄道会社と協議を行い、本整備に合わせて現在の通路の急な勾配を緩やかな勾配に改善する予定です。

(6) 完成イメージ図



## 4 今後の予定について

## 今後の予定について

### <令和3年度>

- 既存樹木の措置（令和3年11月以降）  
交通島に残すサクラの剪定等を行います。  
コブシの移植を行います。
- 新しく植樹するサクラの意見募集（令和3年11月以降）
- 水道管及び電柱移設工事（令和3年12月以降）  
道路線形が変わるため、計画している道路線形に合わせた位置に水道管  
及び電柱を移設します。

### <令和4年度>

- 工事説明会  
工事期間、工事時間帯、迂回等について、ご説明します。
- 駅前広場整備工事  
令和4年度末に工事が完了する予定です。

最後に「今後の予定」について説明いたします。

令和3年度については、11月以降に交通島に残すサクラの剪定やコブシの移植等を行うほか、新しく植樹するサクラの意見募集を行います。

また、12月以降に水道管及び電柱の移設を予定しています。

令和4年度については、工事説明会ならびに駅前広場整備工事を実施してまいります。

説明は以上となります。

## 5 質 疑 応 答

## 問い合わせ先

小平市都市開発部道路課計画担当

電 話: 042-346-9548(直通)

メール: [doro@city.kodaira.lg.jp](mailto:doro@city.kodaira.lg.jp)

受付時間: 午前8時30分から午後5時15分まで  
(土曜日・日曜日・祝日は除きます。)